

各 位

会 社 名 株式会社ソディックプラスチック
 代表者名 代表取締役社長 藤川 操
 (JASDAQ・コード6401)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役管理本部長代理 吉岡洋二郎
 TEL 045-478-1880

特別損失の発生並びに平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成21年2月5日付「平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正並びに役員報酬等の減額に関するお知らせ」にて発表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成21年3月期の連結業績予想の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,300	20	10	△320
今回修正 (B)	12,372	△21	△103	△933
増減額 (B-A)	72	△41	△113	△613
増減率 (%)	0.5	△205.0	—	△191.6
平成20年3月期実績	13,960	483	437	273

2. 平成21年3月期の個別業績予想の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	12,000	40	30	△280
今回修正 (B)	12,100	20	0	△827
増減額 (B-A)	100	△20	△30	△547
増減率 (%)	0.8	△50.0	△100.0	△195.0
平成20年3月期実績	13,709	474	418	253

3. 修正理由

連結業績予想につきましては、売上高は概ね前回予想通りとなりましたが、利益面において、売上確保の為の販促強化を図ったことによる粗利益率の低下や販売手数料の増加により、営業損益は21百万円の損失（前回予想比41百万円の減少）が見込まれ、持分法適用会社について固定資産減損損失を認識したことによる持分法投資損失の拡大により経常損益は103百万円の損失（前回予想比113百万円の減少）となる見込みです。また、当社及び連結子会社に係る固定資産減損損失を計上し、更に棚卸資産評価損を特別損失を特別損失として織り込み、繰延税金資産に付いて評価性引当額（221百万円）を計上いたしました結果、当期純損益は933百万円の損失（前回予想比613百万円の減少）が見込まれることから、前回予想を修正するものであります。

個別業績につきましては、売上高は概ね前回予想通りとなりましたが、利益面において、持分法投資損失及び子会社の固定資産減損損失に代って関係会社株式評価損を計上した事を除いて上述の連結業績の理由により、営業利益20百万円（前回予想比20百万円の減少）、経常利益で0百万円（前回予想比30百万円の減少）、当期純損失827百万円（前回予想比547百万円の減少）と見込まれることから、前回予想を修正するものであります。

4. 特別損失の発生（連結）

(1) 固定資産減損損失

米国ミシガン州にある当社子会社である Advanced Plastic Manufacturing Inc. については昨年後半以降の世界経済の急激な悪化により同社の業況について不透明感が高まったため、その生産設備の資産査定を厳しく評価した結果、215 百万円の減損損失を計上いたします。

また、一部当社生産設備に付いても収益性の低下が懸念されるため別途 54 百万円、合せて 266 百万円の減損損失計上いたします。

なお、国内の持分法適用関係会社に付いても同社設備に付いて減損損失を認識するため、持分法投資損失として 41 百万円を計上いたします。

(2) 棚卸資産評価損

機械受注統計にも見られる通り平成 21 年度第 4 四半期以降の受注の落ち込みは急激であり、当社の操業にも影響を及ぼす見通しであることから、需給関係悪化に伴う生産調整を見越して棚卸資産評価損 193 百万円を特別損失として計上いたします。

5. 特別損失の発生（個別）

(1) 関係会社株式評価損

前述の当社北米子会社、及び国内の持分法適用関連会社に付いて減損損失を認識した結果、2 社の関係会社株式に付いては、実質価額が著しく低下したため関係会社株式評価損 92 百万円を計上いたします。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上